市長雑感

(55)

財政を大きく圧迫する超過負担

公務員の給与、とりわけ地方公務員の給与が国家公務員に比べて高い――ということで、自治省では地方自治体の人件費抑制キャンペーンを行っている。それは、財政硬直化の最大の原因として人件費をあげ、自治体職員の給与水準の適正化について厳しく指導すると言明し、国の水準を上まわっている地方自治体に対し特別交付税の打切り、また地方債発行についても自治体の要求に応じない姿勢を明らかにしている。ここでこうした情勢にあわせて新津市がいまおかれている実情について、市民のみなさんからも認識をいただきたいと思う。

たしかに地方財政は、いま重大なピンチに見舞われていることは事実である。しかし人件費のふくらみがニッチもサッチもいかない状態にさせているのではなく（新津市の場合、国の給与水準より下まわっている）、当然国が措置しなければならない費用負担、学校、保育所、公営住宅などの建設について適正な財源措置を講じないまま、私どもに負担させてきたいわゆる「超過負担」にその原因があることと、いま日常私ども自治体が行っている行政事務の中に国の委任事務が圧倒的にその量が大きいことを見逃すわけにはいかない。こうしたことが財政硬直化にも連なるし、人件費のアップに結びついているのが事実であり、地方財政を極度にまた圧迫しているのである。

自治省は、なべて地方自治体をして「人件費が国の水準を上まわる分だけ住民サービス費が圧迫され、シワ寄せをくっているということは重大問題、自治体職員がアスファルトを食べてしまっている」のだとまで言っている。とんでもない話しで、自分の足を食ってしまう"タコ"になぞらえ、地方自治体を決めつけられてはたまったものではない。

地方財政のピンチの理由はまだまだ多くを挙げることができる。例えば年に二回も医療費の値上げが行われた結果、国保会計では単に料率アップだけでは措置できず、やむなく一般会計からの繰出しを余儀なくされていることなども間接的には影響が大きい。国の抜本的財政措置が待たれる所以でもある。

地方自治体にとっても言い分のあることを市民のみなさんから理解をしていただきたいと思う。もちろん、そのことによって市民に対するサービス低下はあってはならない――とキモに命じているが。

志田保

ゴミが混じって…

の区分は守ってネ

豊富に出まわる品物でもやがてはゴミに

――＊

私たちの生活は便利になりました。必要なものであればどんな品物でも手に入る世の中です。しかし、そうして使われるさまざまなモノは、やがてゴミの仲間になってしまいます。電化製品、家具類といった大きなものから、プラスチック類まで、現代のゴミはそのまま時代の変化を示しているといえますネ。

ゴミの中に多い野菜くずなどの生モノ

――＊

全国的に共通していえることですが、ゴミといわれるモノの中には、いわゆる生ゴミが大変多く、野菜くず、魚介類、残飯などが大きな比重を占めています。これは、新津市でもに例外ではありません。

先日、市内のある地域から燃えるモノとして焼却場へ運び込まれたゴミの分別を調べてみました。

果実の残存や残菜など、主に水分が多く含まれている燃えにくいゴミが三二％以上も含まれていました。

ぜひ守ってもらいたいこと

- ♥燃えるモノ、燃えないモノを、別べつにまとめて決められた日に
- ♥台所からのゴミは、よく水分を切って
- ♥ゴミは、ポリ袋に入れ、口を封じて収集車が来たらステーションへ
- ♥大きなゴミは、あらかじめ前処理（切断・圧縮など）を。長いものは一メートルほどに切ってたばねて

お買物、ご用命は市内で

表具
鈴木一心堂
一級技能士 法定防火壁装工事店
訓練指導員 建設業登録店
本町3☎2-2035

彼女はフレッシュジュース
資生堂 春の口紅新色発売
本町2丁目 マツヤ TEL (2)0418
第四銀行が向い。北越銀行がとなり

悩んでいます"燃えない"ゴミ

「燃えるモノ」「燃えないモノ」

"燃えないモノ"もいっしょに入っていて困っています――＊

ところで、市の焼却場に運び込まれる"ゴミ"の中に、野菜くずなどの燃えにくいゴミといっしょに、ジュースのアキカンやビン類などの"燃えないゴミ"もいっしょに入っていて、頭を痛めています。

燃えるモノ――として収集したものをそのまま焼却炉の中に入れてしまうと、アキカン類などの"燃えないモノ"がそのまま残って、炉を痛める結果になり、焼却能力もおちて、しまいに使えなくなってしまいます。

焼却炉は"燃やす"ための施設です。燃えないモノもいっしょに入れては、どんな丈夫な、性能のよい施設でもたまったものではありません。

"燃えないゴミ"はまとめて決められた日に出そう――＊

市では、将来とも増えつづけるゴミを十分に処理して、快適な市民生活をおくられるように、昨年の八月、かってない性能のよい新しいゴミ焼却炉を増設しました。計量から投入、燃焼と、すべて機械化によって大量にしかも早く効果的に処理することを考えたものです。

しかし、焼却場に運び込まれるゴミの中には、いまいったように「燃えるモノ」「燃えないモノ」がいっしょに入っているために、せっかくの新鋭設備も、いまもって一〇〇％の働きをすることができないままに悩んでいるのが現状です。それというのも、ゴミを炉の中に投入する前に、ガラスやアキカン類など"燃えないゴミ"を取り出す作業でムダな時間と労力が使われるからです。

このムダな労力と時間は、みなさんの家庭からゴミを出すさい「燃えるモノ」「燃えないモノ」に分けてもらい決められた収集日に持ち出してもらえば解決する問題です。ぜひ市民の皆さんのご協力をお願いします。

アキ缶 ビン類 ゴミの"中味"調べたら…

先ごろ市内住宅地の一地域を選んで、十か所あるゴミステーションから燃えるゴミとして集められた廃棄物を ▽燃えるゴミ ▽燃えにくいゴミ ▽燃えないゴミ――が、どんな割合いで混っているのかなどを調べてみました。

この住宅地域の人口は千五百九十二名で四百四十四の世帯数。この日のゴミ総収集重量は千八百五十キログラム（四九三・三貫匁）ありました。この中で――

♥燃えやすいゴミは…ニットの糸くずや木くず、ダンボール・雑誌などの順に多く、六五・三五％に当たる千二百九キログラムありました。

♥燃えにくいゴミは…主に水分を多く含んでいるもので、果実の残皮、野菜などの残菜、ご飯の残こりといった順に多く、六百キログラム（三二・四三％）ありました。この量は、ミカンの大箱に詰めると四十箱分にも当たります。

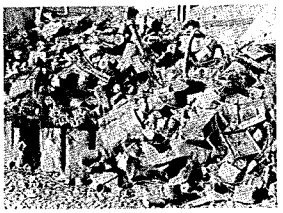
♥まったく燃えないゴミは…四十一キログラム（二・二二％）も取り出され、鉛化ビニール系、ガラス類、アキカン類の順に多くありました。

このガラス類には、牛乳ビンほどの大きなものが四十個、四合ビンほどのものが五個、ほかに電球や茶わんなども入っていました。またアキカン類では、カン詰類が五十七個と一番多く、ジュースなどのカンも三十二個と、全部で百九個も出てきました。

この調査からもわかるように"燃えるゴミ"として集められたものの中には、こんなにも"燃えないゴミ"が入っていました。これを知らないでそのまま炉の中に入れて処理してしまうと、焼却炉がこわれて、もう使えなくなってしまうのです。

ゴミの持出しは決められた日に

ゴミの山には燃えないゴミも



こんなに出てくるアキカン類

お買物、ご用命は市内で

ボリュームある肉料理専門店
とんかつ すき焼 箱岩
新津市本町3 TEL 24516

MEN'S COT'S コート&スーツ
男の服 いちだ 新津市本町2 ☎4 0648
ファッション MIMI ☎4 0658